



ながつき：語源は明らかではないが、夜がようやく長くなる月の意の夜長月の略称といわれてきた

全国学力・学習状況調査 森の里小学校の傾向と概要

昨年度はコロナ禍により全国一斉での実施が見送られた「全国学力・学習状況調査」でしたが、今年度は2年ぶりに全国一斉で実施され、過日結果が

公表されました。6年生の児童及び保護者には、9月中旬に個人の結果（個人票）を配布しました。本校の学習や学習習慣に関する傾向について概要をお伝えいたします。グラフなどを活用した詳細については、後日改めて学校だよりや学校ホームページでお知らせいたします。

学力調査結果

今年度の学力調査は、国語科と算数科の実施となりました。平均正答率は全道・全国より若干下回りましたが、算数においては全16問中の正答数4問以下、正答数8問以下の児童が大幅に減少し、課題となっていた「学力の底上げ」の面で成果がみられました。

国語 平均正答率は、全道・全国をわずかに下回りましたが、学習指導要領の内容「書くこと」においては、全道・全国並の結果となりました。学習指導要領の内容においては、「読むこと」が課題となりました。

算数 平均正答率は、全道・全国をわずかに下回りましたが、学習指導要領の領域「測定」と「変化の関係」においては、全道を上回りました。領域においては、「図形」が課題となりました。

回答形式 学力調査の回答形式は3つあります。①「選択式」、②短い文で答える「短答式」、③50字や80字程度の文章で回答する「記述式」です。回答形式ごとの正答率では、国語と算数を比較すると、国語に課題があります。また、国語・算数、どちらの教科においても、記述式の回答に課題があります。国語と比較すると算数の正答率が高い傾向にありました。校内の研究教科を算数に設定し、重点的に取り組んだ成果です。今後はその研究成果を国語や他の教科にも生かせるよう工夫改善を継続してまいります。

学習状況踏査の質問に「新聞を読んでいますか」という項目があります。全道・全国的に新聞離れが進んでいる傾向にあり、本校においては週に1～3回以上読んでいる児童が26.5%でした（全国の14.8%を大きく上回っています）。5年生のグリーンスペースには新聞コーナーが設けられ、子ども達が新聞に親しむことができるよう工夫されています。



学習状況調査結果

学習状況調査については、本校の特徴的な傾向を掲載いたします。

よい傾向（肯定的な回答が85%以上）	課題（肯定的な回答が60%以下）
<p>○朝食を毎日食べているか ◎毎朝、同じくらいの時刻に起きているか ◎いじめはどんな理由があってもいけないこと ○人が困っている時は進んで助けているか ○人の役に立つ人間になりたいか ◎ICT機器などは勉強の役に立っているか ○授業は、自分にあった考え方や教材、学習内容になっているか ○国語の授業内容はよくわかるか ○国語や算数の学習は社会に出た時に役立つか ○算数の勉強は大切だと思うか ※◎は95%以上の児童が肯定的に回答</p>	<p>▲将来の夢や目標を持っているか ▲社会をよくするためにすべきことを考えることはあるか 改善策 様々な教育活動において社会とのつながりを意識できるような工夫を継続するとともに、キャリア教育の更なる充実を図る。 ▲自分と違う意見について考えるのは楽しいか 改善策 様々な交流活動や話し合い活動を通して考える楽しさやおもしろさを味わうことができるよう工夫するとともに、多様な考えを受け入れる雰囲気づくりに努めます。</p>

すべての結果を迅速かつ適正に分析を行い、日常の授業づくりに役立てております。

校内授業研究

コロナ禍においても、「子ども達の学びを止めないこと」が求められています。子ども達の学びを止めないためには「教員も学びを止めないこと」が大切だと考えております。

コロナ禍以前は、全教員が一つの教室に集合し、子ども達の学習の様子を見ながら、指導方法や授業づくりについて熟議を重ねていましたが、三密を回避しなければならない状況の中では、これまでの方法では行うことができません。

今年度は、ICT機器を活用し、教員がグリーンスペースで授業を参観する方法をとりながら、校内研修の充実を進めております。（左下の写真のようにモニターを2つ活用）



9月9日（木）に2年1組で算数の授業研究を行いました。担任の伊藤教諭とSTの西山教諭が連携し、本校の課題領域である「図形」の単元で授業を行いました（写真左上）。

後日、事後研修を行い、研究の視点でもある「見通しの充実」や「交流の充実（写真右下）」について研修を深めました。

お願い

14日（火）からお願いしております学校評価アンケートは、本日までとなっております。ご回答いただいた皆様、ご協力に感謝いたします。多くの方にご回答をいただきましたが、もう少し多くの方にご回答いただくと、より正確な分析を実施することができ、実態に応じた改善策を講じることができます。まだ回答されていない場合は、右のQRコードよりご回答下さい。よろしくお願いいたします。

